

基金だより



電子年金基金

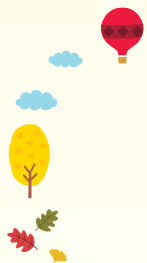
第11号 2023.9



電子情報技術産業企業年金基金

当基金のホームページは
こちらから→





令和4年度 基金決算のお知らせ



7月21日に開催されました第12回代議員会において、当基金の令和4年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

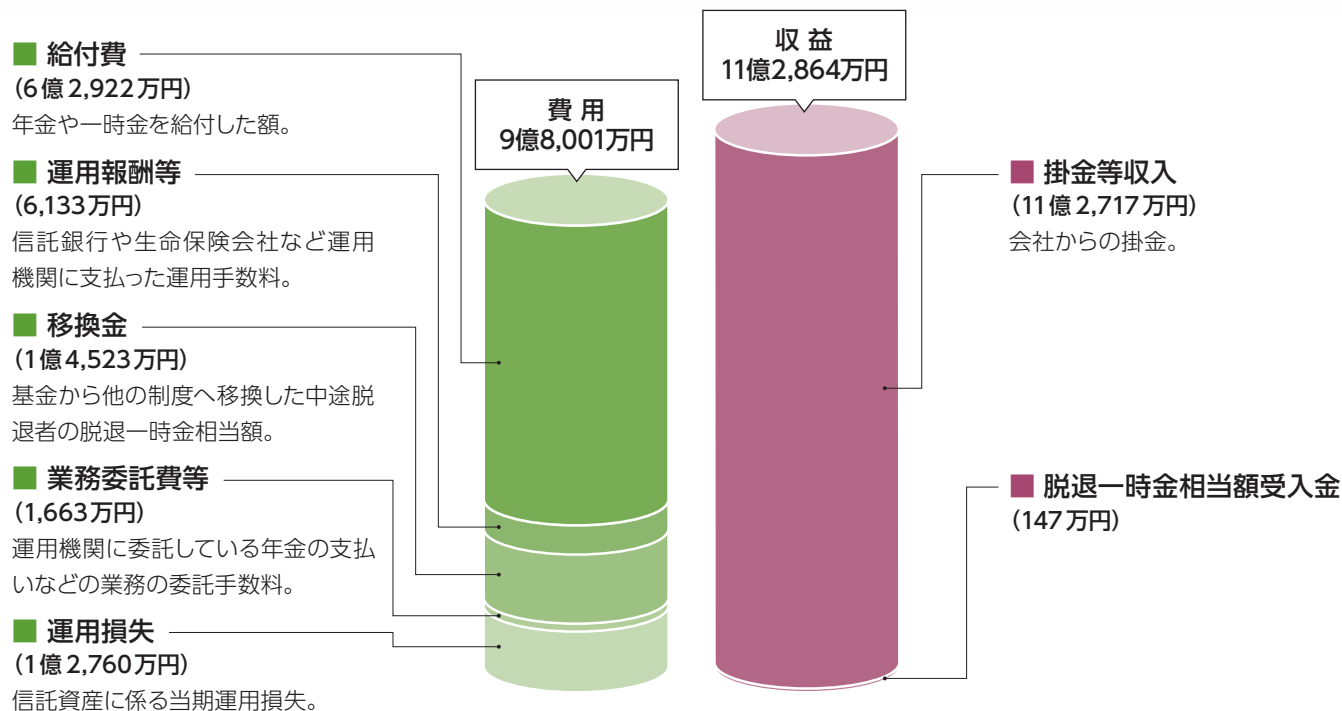
年金経理

年金の給付や掛金のうけ入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

1年間の収支状況

(損益計算書・経常収支)

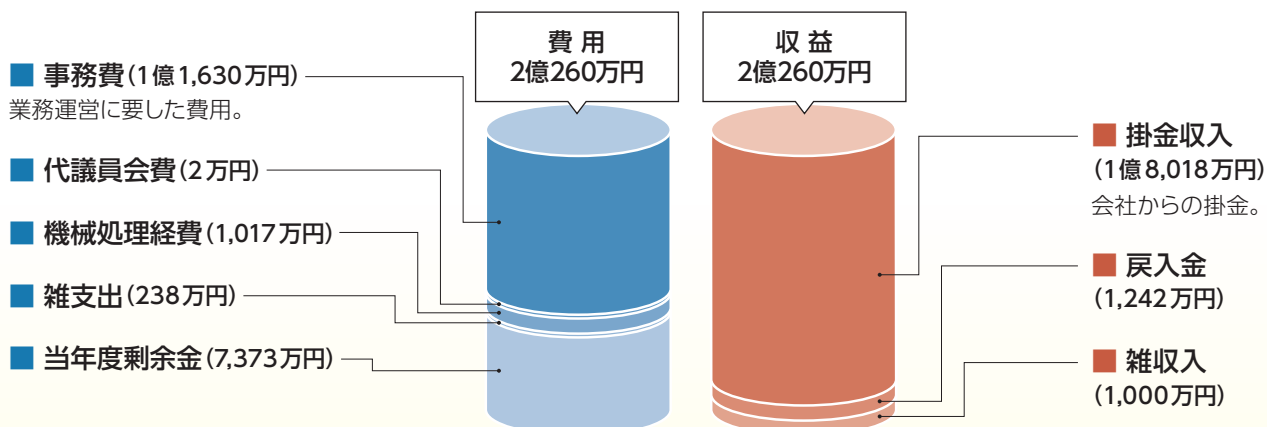
基金の主な収入源である掛金、支出である年金・一時金の支払いのほか、年金資産の運用損益などの1年間の収支を明らかにしています。



業務経理

業務会計

基金を運営するための経費を処理する会計です。

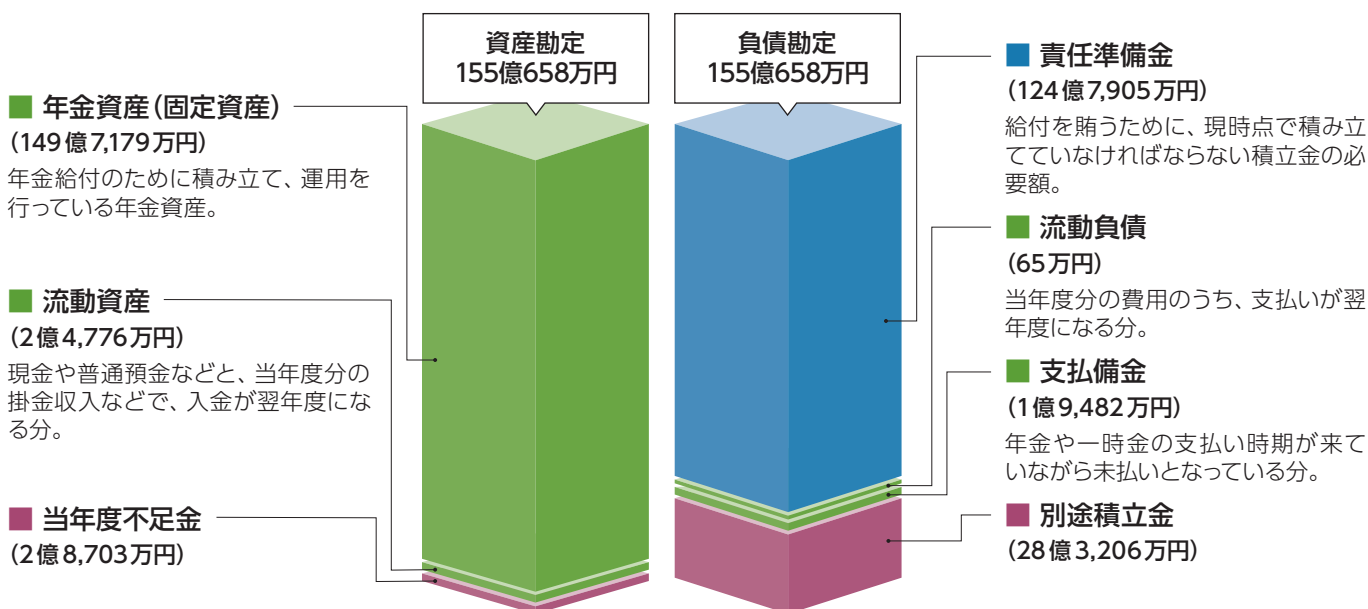


資産と負債のバランス

(貸借対照表)

年度末において、実際に保有する年金資産と、将来の年金給付のために積み立てておくべき資産(責任準備金)を比較し、基金財政が健全に推移しているかをチェックします。

■ 純資産：(固定資産+流動資産) - (流動負債+支払備金) ■ 負債 ■ 基本金



基金では財政検証を実施しています

基金では、加入者・受給(権)者の皆さまの受給権保護のために、決算期ごとに年金資産の積立状況を2つの方法(継続基準、非継続基準)で検証しています。検証の結果、基準値をクリアしていない場合は、積立計画の見直しが必要になります。

継続基準

将来の給付のために保有しておくべき年金資産(責任準備金)が、計画どおりに積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額 (150億2,408万円)}}{\text{責任準備金 (124億7,905万円)}} = 1.20$$

(基準値: 1.0以上)

● 検証結果

純資産額が責任準備金を上回っており、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者・受給(権)者の加入期間に応じた給付に必要な資産(最低積立基準額)を保有しているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額 (150億2,408万円)}}{\text{最低積立基準額 (122億3,528万円)}} = 1.22$$

(基準値: 1.0以上)

● 検証結果

最低積立基準額に対する純資産額の割合が、基準値1.0を上回っており、基準値をクリアしています。積立水準を確保するための措置を行う必要はないことが確認されました。



当基金の資産運用結果のお知らせ



令和4年度における当基金の年金資産運用の利回りは-0.89%となりました。今後も市場の動向を注視しつつ、適切なリスク管理の下、安全かつ効率的な運用と収益の確保に努めてまいります。

■ 令和4年度 収益状況

(単位：千円)

資産種別		令和5年3月末	収益率
国内債券	三菱UFJ信託銀行パッシブ	3,711,593	-1.59%
国内株式	三菱UFJ信託銀行パッシブ	223,851	5.84%
	みずほ信託銀行 (集中投資型)	1,021,133	4.03%
	アセットマネジメントOne (アクティブ市場型)	654,746	3.21%
	東京海上アセットマネジメント (低ボラティリティ型)	554,022	13.99%
	国内株式 計	2,453,752	6.06%
外国債券	三菱UFJ信託銀行パッシブ	673,542	-0.51%
	三井住友信託銀行アクティブ	268,415	-6.75%
	りそな銀行アクティブ	625,968	-2.73%
	外国債券 計	1,567,925	-2.52%
外国株式	三菱UFJ信託銀行パッシブ	381,599	2.25%
	三菱UFJ信託銀行ベイリー・ギフォード (集中投資型)	179,812	-8.45%
	三菱UFJ信託銀行ベイリー・ギフォード (マルチアセットファンド)	746,576	-11.17%
	MFSインベストメント・マネジメント (低ボラティリティ型)	1,352,299	7.43%
	外国株式 計	2,660,286	-0.34%
代替投資	朝日ライフアセットマネジメント	2,010,473	-1.03%
	アライアンス・バーンスタイン	684,023	-9.58%
	代替投資 計	2,694,496	-3.35%
短期資金	三菱UFJ信託銀行	1,883,740	-0.01%
合 計		14,971,789	-0.89%

■ 令和4年度末 資産構成割合

国内債券 (3,712百万円) 24.79%	国内株式 (2,454百万円) 16.39%	外国債券 (1,568百万円) 10.47%	外国株式 (2,660百万円) 17.78%	代替投資 (2,694百万円) 17.99%	短期資金 (1,884百万円) 12.58%
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

令和5年度の資産運用計画について

基本的に現在の政策資産配分を維持します。

外国株式として保有している三菱UFJ信託銀行扱いのベイリーギフォードマルチアセットファンドは、令和4年度前半の外国株式急落時に大きく下落し、その後も回復が遅れ、令和4年度通期でマイナス、令和5年度もマイナス運用が続いています。

このため、当該ファンドを減額し、政策配分から下方乖離している代替投資のうち、アライアンス・バーンスタインの米国株式ロング/ショート戦略に資金移動いたします。移動額は、外国株式全体が政策資産配分から上方乖離している約2.3% 375百万円とします。

令和4年度事業報告について

1 代議員会、理事会等の開催

令和4年度事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により代議員会、理事会、事業運営委員会をWeb開催とし、当基金の予算、基金規約・諸規程の変更、年金積立金の運用計画・運用状況を検討・審議していただきました。

会議名	人数	回数	会議名	人数	回数
代議員会	40	2	事業運営委員会	8	3
理事会	20	2			

※人数は定数です。

2 適用状況（実施事業所数及び加入者数）

		令和4年3月末	令和5年3月末
実施事業所数		187事業所	185事業所
加入者数	男	15,848人	15,363人
	女	5,905人	5,845人
	計	21,753人	21,208人

3 給付状況（件数及び金額）

		令和4年3月末		令和5年3月末	
老齢給付金	年金	142件	28,899,400円	122件	23,285,300円
	一時金	176件	225,827,200円	169件	207,571,600円
脱退一時金		503件	147,833,700円	752件	278,100,400円
遺族給付金（一時金）		20件	19,343,400円	18件	19,493,500円

4 掛金拠出状況

	①納付決定額	②納付済額	未納額	収納率 ②／①
標準掛金	670,154,400円	618,730,736円	51,423,664円	92.3%
特別掛金	556,182,000円	513,420,000円	42,762,000円	92.3%
事務費掛金	197,588,400円	182,524,400円	15,064,000円	92.4%

※未納額につきましては、令和5年2月分掛金が令和5年4月以降に収納となるためです。

5 年金通算状況

●他制度からの資産の受換

	移換元	件数
脱退一時金相当額	厚生年金基金	—
	確定給付企業年金	4
年金給付等積立金	企業年金連合会	0
残余財産	厚生年金基金	0
個人別管理資産	企業型確定拠出年金	—
	個人型確定拠出年金	—
解約手当金相当額	中小企業退職金共済	—

●他制度への資産の移換

	移換先	件数
脱退一時金相当額	厚生年金基金	—
	確定給付企業年金	3
	企業年金連合会	41
	企業型確定拠出年金	205
	個人型確定拠出年金	23

監事総合監査実施状況

令和5年6月16日(金)、当基金事務局会議室において、百鬼直樹監事（ASTI株式会社）、木村宗次監事（株式会社トミーインターナショナル）により監事総合監査が実施され、当基金の事業が基金の制定している財務及び会計規程並びにその運用は法令に準拠しているものと認められました。

令和4年度不足金処理について

令和4年度の運用等により発生した不足金の287,031,068円は、別途積立金を取り崩しこれに充てることといたしました。

基金掛金の不納欠損処分について

二つの事業所（関連会社）については、令和1年11月12日東京地方裁判所により破産手続き開始決定がなされておりましたが、今般破産手続きにおける配当額が確定し、破産管財人より配当金の入金を確認いたしました。これにより破産手続きが終了し、未納額について今後の追加収納が見込めないため、債権管理事務取扱規則第30条第2項により未納残額について不納欠損処分といたしました。

理事長専決処分について

1 業務経理の予算科目間流用の報告について

業務経理にかかる事務費予算について、理事長専決により下記のとおり予算流用を行いました。

予算流用年月日	中分類	小分類	金額 (円)		中分類	小分類	金額 (円)
令和5年1月25日	役職員 諸手当	時間外手当	48,980	から流用	役職員 諸手当	通勤手当	48,980
令和5年2月24日			361,190				361,190
流用理由：事務所移転による職員の通勤経路変更等で支出が増加したため。							
令和5年3月31日	需用費	借料損料	731,903	からの流用	需用費	雑役務費	731,903
流用理由：事務所移転にかかる費用が発生したため。							

2 規約別表の変更について

事業所の減少（削除）に伴う規約別表の変更

事業所名称	事業所所在地	加入者数	適用年月日
アステック株式会社	東京都新宿区	2名	令和4年12月21日

第2期 互選代議員及び理事補欠選挙結果について

第2期互選代議員に2名、互選理事に2名の欠員が生じておりましたので、選挙を執行することとしておりましたが、それぞれの立候補者数が選挙すべき人数を超えないため、無投票により下記の方が当選されました。

(敬称略)

氏名	実施事業所名	所在地
工藤俊博	神奈川県電子電気機器健康保険組合	神奈川県横浜市西区

第3期代議員の総選挙期日等について

第2期代議員の任期が令和6年1月19日をもって満了となります。任期満了に伴う代議員の総選挙等を行います。

1. 第3期代議員総選挙期日 令和5年12月1日（金）
2. 「栄通信工業株式会社 代表取締役社長 下田達郎氏」を第3期選定代議員選定人候補といたします。

リスク対応掛金の導入について

確定給付企業年金においては、掛金が全額非課税となるためなどにより、従来から給付に見合った掛金拠出ししかできませんでしたが、平成28年2月の法律改正により、将来の財政悪化に備え計画的な掛金（リスク対応掛金）の事前拠出が可能となりました。

当基金の特別掛金は令和6年4月分（5月末納期）で償却終了となりますが、4月分を保有している別途積立金で償却し、令和6年4月よりリスク対応掛金を導入いたします。

リスク対応掛金は加入者一人当たり1か月900円を予定しています。（数理計算が現時点で確定していないため若干変動する可能性があります。）これにより現行加入者一人当たり1か月5,100円（標準掛金2,400円＋特別掛金2,000円＋事務費掛金700円）から、同4,000円（標準掛金2,400円＋リスク対応掛金900円＋事務費掛金700円）となる予定です。拠出期間は9年間（令和15年3月まで）を予定しています。

キャッシュバランスプランの利率の決定について

当基金規約第43条第5項及び第56条第4項の規定に基づき、新年度の再評価率及び指標利率（年金換算率）は、令和4年12月末日以前1年間に発行された30年国債の応募者利回りの平均値1.130%により、令和5年4月から1.1%（0.1%未満の端数は四捨五入）を適用しております。





iDeCo（イデコ）とは？



「iDeCo」をご存じですか？ 目や耳にしたことはあるけれど、よく分からないという方もいらっしゃると思います。今回はiDeCoがどのような制度か見ていきましょう。



iDeCoは公的年金にプラスして給付を受け取れる私的年金

iDeCoは、国民年金や厚生年金保険といった公的年金とは別に給付を受け取れる私的年金です。私的年金ですので、加入は任意です。加入者は自分で掛金を支払い、自分で運用方法を選択して掛金を運用し、積み立てた掛金と運用益を合わせた金額を将来受け取ることができます。掛金は全額所得控除

され、所得税・住民税が軽減されるほか、運用益が出た場合も非課税となり、給付を受けるときにも所得控除を受けられます。また、掛金は65歳まで支払うことができ、老齢給付は60歳以降に受け取ることができます。給付は「一時金」「年金」「一時金と年金の組み合わせ」の3種類から選択できます。



加入している制度によって掛金の上限がある

iDeCoには、原則として国民年金に加入している方であれば誰でも加入することができます。

ただし、以下のように加入している制度によって支払える掛金に上限が設けられています。

加入制度	掛金の上限額	
国民年金の第1号被保険者・任意加入者	月額6.8万円 (年額81.6万円)	
国民年金の第2号被保険者	企業年金制度がない人	月額2.3万円 (年額27.6万円)
	企業型DC（確定拠出年金）のみに加入している人	月額2.0万円*1
	DB（確定給付企業年金）と企業型DCに加入している人	月額1.2万円*2
	DBのみに加入している人	月額1.2万円 (年額14.4万円)
	公務員	月額1.2万円 (年額14.4万円)
国民年金の第3号被保険者	月額2.3万円 (年額27.6万円)	

*1 月額5.5万円－各月の企業型DCの事業主掛金額。ただし、月額2万円を上限とする。

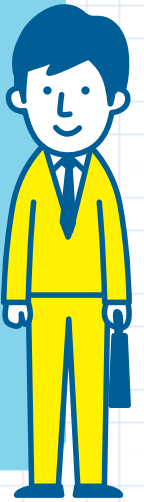
*2 月額2.75万円－各月の企業型DCの事業主掛金額。ただし、月額1.2万円を上限とする。



ライフプラン & マネープラン

増やす力を強化しよう

収入も利息もなかなか増えない時代。
こんな時だからこそ、お金にしっかりと働いてもらって「増やす力」を高めましょう。
「増やす力」が強化できれば、自分のライフプランの選択肢も増やせます。



1

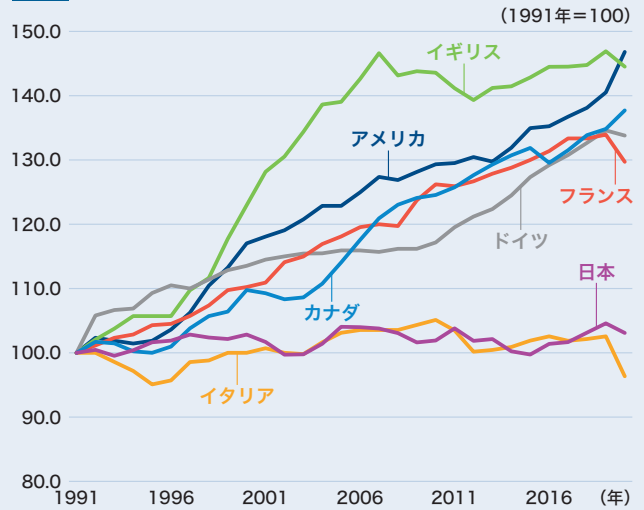
お金にしっかりと働いてもらう



収入を得るには、「労働収入」と「資産収入」があります。労働収入は、自分が時間と労力を使って得るものですが、日本の賃金はずっと横ばい状態が続いています(図1参照)。一方、資産収入は、金融資産や不動産などに投資して、お金がお金を生み出す仕組みです。

今、手元の300万円を運用する場合を考えてみます。何もしないと増えないばかりか、インフレによって価値が目減りすることも考えられます。これをもし3%で複利運用できたならば、20年後には約542万円、5%なら約796万円にまで育てられます。何に投資するかによりますが、過去20年間の年率平均リターンは、例えば日本株式指数のTOPIXは約7%、世界株式指数のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスは約9%です。ただし、あくまでもこれらは過去の結果です。投資にはリスクが伴い増えることも減ることもありますので、無理のない金額で行うことが大切です。

図1 各国の賃金(実質)の推移



出典：厚生労働省「令和4年版 労働経済の分析」

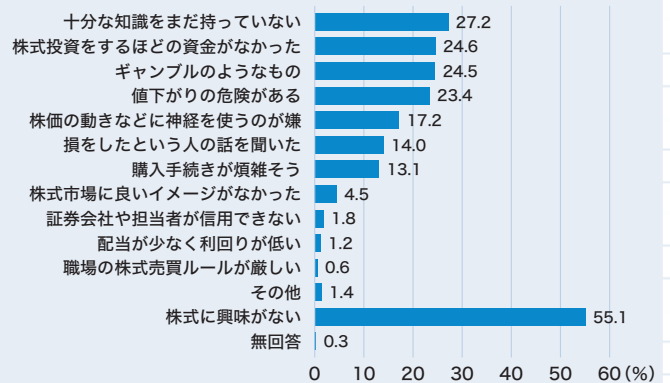
2

「分からない」で終わらせない

「運用はしたいけどよく分からなくて…」という声が聞こえてきそうですが、実際、投資をしない理由の上位には「十分な知識をまだ持っていない」(図2参照)が挙げられます。もちろん投資するかどうかも含めて自己判断であり、「分からないものには投資しない」というのは正しいことでもあります。理解する努力をした上で投資しないのか、単に分らないからという理由で投資しないのかでは、大きく違います。

これからの時代は、お金のことにかかわらず、常に新しい情報をキャッチして知識のブラッシュアップを図ることが不可欠です。工夫すれば、オンラインでも無料で学ぶ方法はいくらでもありますので、分からないことを怖がらずお金の勉強を始めてみましょう。

図2 株式の非購入理由



出典：2021年12月15日 日本証券業協会「証券投資に関する全国調査」

アドバイス

伊川 美希 (いかわ・みき)

1級ファイナンシャル・プランニング技能士、日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー。

ようこそ! お金の 相談室

Q. 金融リテラシーとはなんですか?



金融リテラシーとは、お金に関する知識と判断力のことです。安心して豊かな生活を送るため、皆さんも金融リテラシーを勉強してみましょう。

1 金融リテラシーとは具体的になんですか?

金融リテラシーは、家計管理、生活設計、預貯金、株式・債券・投資信託、保険、クレジット・ローンなど、私たちの生活に関わる、さまざまなお金に関する知識とその判断能力のことを指します。「毎月の収支は?」「出産や子育てにはいくら必要?」「資産運用ってどうやるの?」「保険の仕組みとは?」など、その範囲は多岐にわたるので、段階を追って身に付けていく必要があります。

2 金融リテラシーを身に付けるとどうなるの?

私たちが現代社会で生活していく上で、お金と関わりを持つことは必要不可欠です。お金に関する知識が足りないと、赤字家計となってしまうたり、投資で大きな損をしてしまったり、ローンの返済ができなくなってしまったりと、金銭的なトラブルに巻き込まれてしまう可能性があります。

金融リテラシーを身に付けることは、私たちの生活スキルを高め、より自立的で安心かつ豊かな生活を送ることにつながります。そして、人生において自分の夢をかなえるために必要不可欠な能力といえるでしょう。

3 すべての世代に必要な金融リテラシー

金融リテラシーは、小学生から高齢者まですべての世代において、段階的に身に付けていく必要があります。例えば、小学生から高校生までは、親が率先して、家庭でお金の管理方法を勉強していくことが大切です。最近では学校でも金融教育を行い、お金への理解を深

めています。

そして社会人になってからも、もちろんお金に関する知識は必要です。投資や老後資金の準備など、金融庁が作成している資料や書籍などを参考にしながら勉強していきましょう。

さらに高齢者は、リタイア後の生活設計の立て方や高齢期の保険の必要性などを理解する必要があります。お金のトラブルや詐欺などに巻き込まれないよう、周囲の家族が高齢者をサポートしてあげることも重要となります。

4 金融リテラシーの身に付け方

まずは、日々の生活費の管理方法や、貯金の仕方など、身近な分野からお金の勉強を始めてみましょう。資産運用や保険など、自分が特に関心のある分野について、本を読んでみるのもいいですね。

* * *

さらに、金融庁は「最低限身に付けるべき金融リテラシー」というパンフレットを発行しています。基本的な金融リテラシーの概要を理解できる入門パンフレットとなっているので、ぜひ一度内容をチェックしてみたいかがでしょうか。

■金融庁が作成している金融リテラシーパンフレット
<https://www.fsa.go.jp/news/25/sonota/20131129-1.html>



私がお答えします!

下中 英恵
したなか・はなえ

1級ファイナンシャル・プランニング技能士(資産設計提案業務)。慶應義塾大学卒業後、三菱UFJメリアルリンチPB証券株に入社。富裕層向け資産運用業務に従事後、現在は資産運用や税制等、金融記事の執筆を行う。

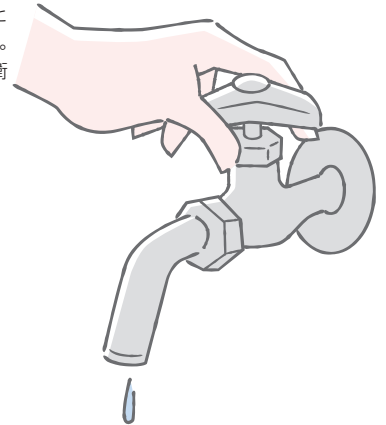
くらしに+ プラス おうちでエコ活

節水アイデアを学ぶ

環境的にも経済的にもエコな暮らしのアイデアを提案していきます。
今回は自宅で使う水やお湯の無駄遣いをなくす方法をご紹介します。

今回の先生 **和田 由貴さん** 節約アドバイザー

消費生活や環境問題の専門家として、現役の主婦・母の視点から、節約術や家事情報に精通する節約アドバイザーとして講演、テレビ出演、新聞、雑誌などで幅広く活躍中。近著に『即実践！即効果！節約のプロがおしえる家計防衛術100』（辰巳出版）がある。



エコなメリット

ECOLOGY
環境面

ガスや電気でお湯を沸かす機会を減らすことで、CO₂排出などの環境負荷を減らすことができる。

ECONOMY
経済面

水やお湯の無駄遣いを減らすことで、光熱費や水道代が抑えられる。

自宅で水をたくさん使うお風呂、キッチン、洗濯機に注目

自宅で水を使う場合、お湯として使う場面が多いのでは。
給湯には水道代のほかにガス代や電気代がかかるので、水と比べて約3倍のコストがかかります。
お湯を使い過ぎない、再利用を心掛けることで無駄なコストと環境負荷を減らしていきましょう。

お風呂

シャワーを出しっ放しで使う人もいますが、普通のシャワーは1分間に約12ℓのお湯が出るため、16分使うと浴槽1杯分のお湯が流れてしまう計算に。家族が多い方は特に注意が必要です。

- シャワーを小まめに止める
- 寒い日は湯船にお湯を入れて浴室全体を保温する
- 100円ショップなどで買えるお風呂の保温シートを利用してお湯の温度低下を防ぎ、追いだきや足し湯の回数を減らす
- 浴槽いっぱいまでお湯を入れず、肩まで漬かれる湯量だけ入れる



節水家電を買わなくてもできる節水の工夫

洗濯機

洗濯機を使う回数を減らすことで節水が可能になります。お風呂の残り湯（ぬるま湯）を洗濯に再利用する方も多いと思いますが、すすぎを真水で行えば臭いやばい菌が付く心配はいりません。

- 洗濯物が洗濯槽の8分目くらいまでたまったら洗濯をする
- かごに白い物、色物を別々にためて、「白い物を洗う日」「色物を洗う日」に分けて洗濯するようにする
- バスポンプを使って浴槽の残り湯を洗濯に利用する



キッチン

洗剤の泡を洗い流すとき、意外と大量の水を使っています。汚れの少ないコップなどから少ない洗剤で洗い、最後に油の付いた食器を洗うとすすぎ時間を短縮できます。また、麺類のゆで汁や野菜を洗った水を捨てずに、食器を漬けて置くのも節水につながります。

※パスタのゆで汁にはサポニンという成分が入っているので、油汚れやシンクの汚れ落としにも利用できます。

- 洗う順番を考える
- 食器の油汚れや食べ残しはヘラや紙で取り除く
- 調理に使った水を漬け置き洗いに再利用する



注意!

トイレ

水を小ボタンで流す、タンクにペットボトルを入れるなどの節水対策をすると、流した紙が流れ切らずに下水管の奥で詰まって、トイレが壊れてしまう原因に。トイレの過度な節水対策は控えましょう!

今

日

も

笑

顔

で

時には療養することがあってもよし！
適度な運動が心身の健康につながります！



岡崎朋美

さん

● 元スピードスケート選手

おかざき ともみ / 1971年、北海道清里町生まれ。小学3年からスケートを始め、高校卒業後、富士急行株式会社に入社してスケート部に所属。1994年リレハンメル五輪から2010年バンクーバー五輪まで、5大会連続で冬季五輪に出場した。1998年長野五輪では日本女子短距離として初の銅メダルを獲得。結婚、出産後もアスリートとして活躍し、2013年に現役を引退した。

中学、高校と目立った選手ではありませんでしたが、名門の実業団に入ったことで環境にも人にも恵まれて、次第にいい結果を出せるようになりました。オリンピックに5度も出場できて思い出はたくさんありますが、2000年に椎間板ヘルニアの手術を受けたことは忘れられません。3ヵ月ほど休んで、マイナスからの再スタートになりましたが、この時に食事の取り方や、アスリートとしての体づくりの方法を学び直し、実践したことで、衰えた筋力を戻すことができました。「人間の体ってすごいな！」と驚くほどの回復ぶりです。選手としての自信にもつながりました。人生、時には療養することがあっても悪くないと思います。

この体験があったので、現役選手として出産することにも迷いはありませんでした。出産後にアスリートが続けているのは、誰もやったことがないと聞いたので、それなら私がチャレンジしてみよう、と。マイペースで、自分の限界を考えず、楽観的な性格だからできたのかもしれないね（笑）。

今も体を動かすのが好きで、ジョギングやジムなどでよく汗をかいています。汗をかくと体がスッカリとして睡眠もとりやすくなり、精神的にも安定して過ごせるようになると思います。心の健康のためにも、自分に合った運動を取り入れて汗をかくことをお勧めしたいですね。